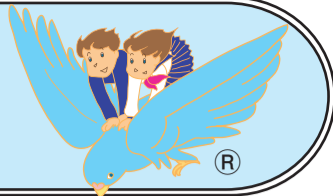


君とつばさ



令和4年1月1日
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 (電話) 03(3556)0771
 (HP) https://www.kotsujii.com

©交通遺児育英会

令和3年度上期事業・会計報告

6月 コロナ対応支援金を給付

交通遺児育英会は11月24日、第32回通常理事会を開き、令和3年度上期の事業報告、会計報告を行った。新型コロナウイルス感染症の流行により、上期も事業活動に大きな影響を受けた。

◆事業報告

▽奨学生の採用

上期の奨学生の新規採用者は、前年同期比12人減の277人、継続採用者は、同46人減の649人で、総数は同58人減の926人となった。

奨学金(貸与、一部給付)の額は、同1600万円減の2億4900万円。一時金(入学一時金、進学準備金)の貸与額は、

同1600万円減の5600万円。この結果、貸与・給付の総額は、同3200万円減の3億500万円だった。

▽奨学金の返還
 奨学金と一時金を合わせた返還額は、4億5600万円。返還率は87.1%で、返還額、返還率ともに前年同期をやや下

回った。新型コロナウイルスの影響で長期滞納者を対象とした戸別訪問や調停申立てができなかったこともあり、滞納者が増加した。

▽コロナ対応支援金
 昨年度に続く措置として6月、奨学金の休止者・停止者を除く全奨学生に対し、一人当たり10万円を給付した。総額8800万円。

▽修学支援金の給付
 「家賃補助」
 月額1万5000円。143人に計1300万円を給付した。

▽奨学生への指導
 新型コロナウイルスの影響により、例年夏に実施している「海外語学研修」および「高校奨学生と保護者のつどい」を中止した。

▽奨学生の運営
 心塾東京寮では、文章



第32回通常理事会

ポスト・コロナは「SDGs」

年頭のひびき

交通遺児育英会 会長

菅谷 定彦



交通遺児育英会は奨学生のコロナ克服努力を応援するため、2020年6月の各人20万円を皮切りに同12月、2021年6月に各10万円、計40万円のコロナ支援金を支給した。全国の学校、各種ワンの高水準である。

交通遺児育英会は2016年以降①自宅外通学者への家賃②大学、専門学校等受験費用③自動車運転免許取得費の補助金を支給、2020年度で年間5000万円に上っている。今回のコロナ支援金は3回合計で3億7000万円と桁違いの巨額である。育英会の支援は並大抵ではない。しかし、皆さんが17項目の一つか二つを、日々の生活や就職先で達成へ向けて努力することで、地球の将来は間違いなく良い方向に進化していく。

「おじさん」の善意に込めるには何をなすべきか。一つの回答は2015年の国連サミットで全会一致で決定した「SDGs」(エスディージーズ、持続可能な開発目標17項目)への取り組みである。

当面の焦点は昨年11月、英国で開催された第26回国連気候変動枠組条約締結国会議(COP26)で難航の末「地球温暖化防止のため、2030年までに地球気温の上昇を産業革命前に比べ1.5度以内に抑える」ことで、SDGs7番目、13番目の目標に全力を挙げることが決定したが、石炭火力の比率が高い日本はじめ、各国の達成への努力は並大抵ではない。しかし、皆さんが17項目の一つか二つを、日々の生活や就職先で達成へ向けて努力することで、地球の将来は間違いなく良い方向に進化していく。

一昨年春からわが国を襲った新型コロナウイルスの感染急拡大は、4度目の緊急事態宣言下、無観客で行われた東京オリンピック(2021年7月23日〜8月8日)の間もとどまることを知らず、同年8月24日からの東京パラリンピック開催直前にピークに達した。全国の感染者数は8月20日に2万5851人、東京都は8月13日の5908人だった。

そのさなか、菅首相が8月17日「ワクチンで明るい未来が待っている」との結果的には先見性のある発言をしたが、現実には感染拡大で不安感

ある。感染症の医師、国民の窓口である保健所がパンク、病院の受け入れ拒否で救急車が右往左往する悪夢のような現実はワクチン接種が進むにつれ静まった。諸外国に比べ、国民が積極的にワクチン接種に動いたことも大きい。マスク、手洗い、うがい、アルコール消毒さらには密状態を避け、外出も控えて在宅学習・勤務に取り組んだ健全な国民性が貢献した。

わが国の2回目のワクチン接種率が11月中旬で73%と、わが国より早くスタートした米国、英国、ドイツを追い抜いたのは国民一人ひとりの努力のたまものである。交通遺児育英会の1000人近い奨学生の皆さんが、在宅でのオンライン授業、友人との交遊停止に加え、マスクなど予防策の徹底とワクチン接種で乗り切ったことを高く評価したい。

コロナ禍が下火になり、世の中が平常に戻りつつある今、これら「あしな

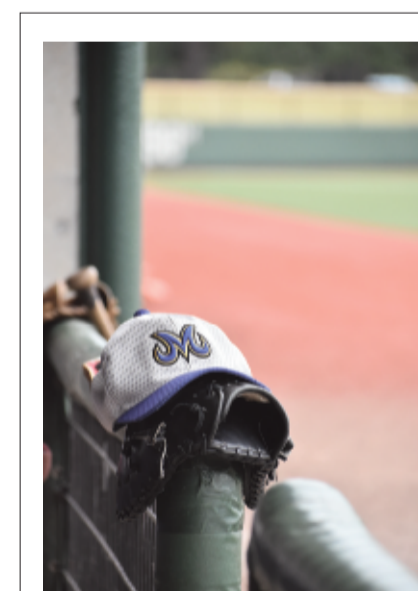
が国のおおきな善意に込めるには何をなすべきか。一つの回答は2015年の国連サミットで全会一致で決定した「SDGs」(エスディージーズ、持続可能な開発目標17項目)への取り組みである。

当面の焦点は昨年11月、英国で開催された第26回国連気候変動枠組条約締結国会議(COP26)で難航の末「地球温暖化防止のため、2030年までに地球気温の上昇を産業革命前に比べ1.5度以内に抑える」ことで、SDGs7番目、13番目の目標に全力を挙げることが決定したが、石炭火力の比率が高い日本はじめ、各国の達成への努力は並大抵ではない。しかし、皆さんが17項目の一つか二つを、日々の生活や就職先で達成へ向けて努力することで、地球の将来は間違いなく良い方向に進化していく。

「おじさん」の善意に込めるには何をなすべきか。一つの回答は2015年の国連サミットで全会一致で決定した「SDGs」(エスディージーズ、持続可能な開発目標17項目)への取り組みである。

当面の焦点は昨年11月、英国で開催された第26回国連気候変動枠組条約締結国会議(COP26)で難航の末「地球温暖化防止のため、2030年までに地球気温の上昇を産業革命前に比べ1.5度以内に抑える」ことで、SDGs7番目、13番目の目標に全力を挙げることが決定したが、石炭火力の比率が高い日本はじめ、各国の達成への努力は並大抵ではない。しかし、皆さんが17項目の一つか二つを、日々の生活や就職先で達成へ向けて努力することで、地球の将来は間違いなく良い方向に進化していく。

当面の焦点は昨年11月、英国で開催された第26回国連気候変動枠組条約締結国会議(COP26)で難航の末「地球温暖化防止のため、2030年までに地球気温の上昇を産業革命前に比べ1.5度以内に抑える」ことで、SDGs7番目、13番目の目標に全力を挙げることが決定したが、石炭火力の比率が高い日本はじめ、各国の達成への努力は並大抵ではない。しかし、皆さんが17項目の一つか二つを、日々の生活や就職先で達成へ向けて努力することで、地球の将来は間違いなく良い方向に進化していく。



愉快適悦

3面 元奨学生・中日ドラゴンズ 柳裕也投手インタビュー

奨学生OB 千葉 美侑

令和4年度 海外語学研修を中止

交通遺児育英会は高校奨学生を対象に、毎夏、英語圏の国で実施している海外語学研修事業について令和4年度は中止することを決めた。新型コロナウイルスの国内感染状況は沈静化傾向にあるものの、変異株(オミクロン株)による感染拡大の懸念があり、来年度の海外派遣は困難と判断した。コロナ禍による同事業の中止は3年連続となった。

12月上旬現在、派遣先候補としていた米国、豪州では100万人あたり新規感染者数が日本の数十〜数百倍に上る。また、米国は2回のワクチン接種率が6割程度にとどまる。出国・帰国に際しても、ワクチン接種証明や陰性証明の提出、最大14日間の隔離措置を求められるなどの規制が続く。外務省は米国へは渡航中止を、豪州へは不要不急の渡航をやめるよう勧告しており、こうした状況を総合的に判断し、実施を見送った。

年末恒例となった流行語大賞、2021年は「リアル刀流」が1タイムが選ばれた。米大リーグ・エンゼルスで投打にわたる活躍を見せた大谷翔平選手(27)。試合を報じる若武者の映像に唸り、画面に釘付けになった方も多いのではないかと翻って首相の所信表明。さしずめこちらは「コロナ対策」と「経済回復」の二刀流か。バラ撒き批判も根強い現金とクーポンによる給付など約36兆円の補正予算は過去最大、6割が国債で賄われるという。政府の借金総額は1200兆円とGDPの2倍を超え、先進国の中でも突出して高い▼月刊誌への寄稿で物議を醸した財務事務次官ならずとも、「大丈夫か」との思いが頭をよぎる。首相は「経済あっての財政」「新しい資本主義を掲げるが、成長と分配のバランスをどう取るか。さらにはコロナという予測不能の難題をどう捌くか▼大恐慌後の米国で、ニューディール政策を主導したF・ルースベルト大統領は演説で明言している。「社会の進歩は富める人々をますます豊かにするのではなく、貧しい人々を豊かにしているかどうかで決まる」。格差と分断が広がる世界にあって、権力の座にある者が肝に銘じるべき金言だろう。苛政は虎よりも猛し、である。

挑戦と感謝で歩む野球人生

2021年のプロ野球セ・リーグで、最優秀防御率(2.20)と最多奪三振(168個)のタイトルを獲得した中日ドラゴンズ・柳裕也投手(27)。柳投手は小学6年生の時に父・博美さん(享年37)を交通事故で亡くした後、横浜高、明治大を経て中日に入団。プロ5年目の昨季は個人タイトルに加え、自己最多(19年)に並ぶチームトップの11勝(6敗)を挙げると、成長著しい右のエースだ。その柳投手は当会の奨学生として大学時代を過ごした。進化を続ける野球人生をどう感じているのか、柳投手に聞いた。

やなぎ ゆう や
柳 裕也 さん

中日ドラゴンズ 投手

投手2冠、チーム最多勝利、オールスターゲームでは選手間投票で選出されるなど、ケガに見舞われて本意に終わった前年の借りを返すような2021年のシーズンだった。

「プロ5年目にしてやっと、しっかりと1年間やれたかな、とちょっとやれたんじゃないか、と思う部分もたくさんあるんですが、オールスター出場は、「同じプロ選手に認められたんだな」という価値がある。素直に嬉しかったですね。今季はそれ以上に頑張りたい、という気持ちです。

僕はマウンドに上がるまで毎回緊張するんです。不安になる。だから(不安を打ち消すように)練習して準備をするんです。精神面でも物事を前向きに、プラス思考で考えるようにしています。例えば本塁打を打たれても「満足じゃなくってよかった」とか、口ごもるからコップを落として中身がこぼれても「プラスチックだから割れなくてよかった」というふうに続けていけば、マウンドでも気持ちの切り替えがうまくいきますね。

小学3年の時にスポーツ少年団で野球を始めた。父・博美さんは野球に関しては素人。入門書を買って読んで、首引きで柳投手の練習に付き合ってたという。そんな父は柳投手が小学6年の時、交通事故で急逝する。

「入門書を見ながら基本を覚えてくれましたね。一緒にキャッチボールをしたり、素振りをしてきたり。ホームセンターで木材を買ってきて練習用バットを手作りしてくれたり。野球を教えるというよ



1994年宮崎県出身。横浜高一・明治大。2016年ドラフト1位で中日入団。右投右打。21年は最優秀防御率、最多奪三振の冠を獲得。ベストナインに選出された。 ©中日ドラゴンズ

いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

東京六大学の名門・明治大では主将としてリーグ連覇に貢献したほか、日米大学野球の日本代表にも選ばれたなど華々しい戦績を残した。横浜高で受けた指導に続き、善波達也監督(当時)の下で学んだ明治伝統の「人間力野球」が合わさって現在の柳投手があるという。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

東京六大学の名門・明治大では主将としてリーグ連覇に貢献したほか、日米大学野球の日本代表にも選ばれたなど華々しい戦績を残した。横浜高で受けた指導に続き、善波達也監督(当時)の下で学んだ明治伝統の「人間力野球」が合わさって現在の柳投手があるという。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「プロになりたい」と思っていたのですが、「これではいけない」と思い直して、硬式野球のチームに移った。進学先に横浜高を選んだのも「さらに上へ行きたい」という思いから。母・薫さん(52)は僕が決めたことに反対せず、いつも背中を押してくれた。実家を離れることについては多分寂しかったでしょうけれど。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「プロになりたい」と思っていたのですが、「これではいけない」と思い直して、硬式野球のチームに移った。進学先に横浜高を選んだのも「さらに上へ行きたい」という思いから。母・薫さん(52)は僕が決めたことに反対せず、いつも背中を押してくれた。実家を離れることについては多分寂しかったでしょうけれど。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

「母への恩返し」とクラブに刺しゅうを施して進んだ横浜高。#平成の怪物、松坂大輔を育てた小倉清一郎コーチ、渡辺元智監督(いずれも当時)の指導を受け、春夏3度の甲子園出場を果たす活躍を見せた。

「最初に野球で「壁」を感じたのも、この時でした。宮崎では一番でも、横浜では周囲はうまい選手ばかり。」「もっと頑張らな」と思った。そして小倉コーチ、渡辺監督という恩人との出会いがありました。今も連絡を取り合いますが、とりわけ自分がプロでプレーできているのは小倉さんに鍛えもらったから、とも言えます。練習は本当にキツかったですが、その時の経験が今でも生きている。お二人を含め、素晴らしい思い出がたくさんあります。

親、学校へのサポートも 交通遺児支援シンポ 子どもの事情に応じた支援必要



前回に続きオンラインで開かれたシンポジウム

令和3年度交通事故被害者サポート事業「交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム」(警察庁主催)が12月2日、オンラインによる配信形式で行われた。専門家による講演に続き、当会奨学生の東京心塾生、根本圭佑さんらによる体験発表があった。講演では、精神科医で大阪教育大准教授の岩切昌宏さんが、年齢や生育環境によって、子どもの悲嘆(グリーフ)や「死」の考え方に違いがあることを説明。「子どもが置かれた環境を整えることが重要」と指摘し、子どもの支援のために「親のサポートや学校への支援も必要」と述べた。

埼玉犯罪被害者援助センターで相談支援を行う竹山律子さんは、遺族と加害側家族が「近所に住み、生活圏が同じ」という事例を取り上げた。子どもだけがでなく、残された母や祖父母のような遺族にも支援が届くというと思うと話をした。

安田さんは「社会にある、さまざまな支援を知らないままだと遺族は大変だ」と思う。関係機関が繋がって支援のバトンをつなぐことで、子どもたちが必要な支援を受けられるといいと話した。

交通事故被害者サポート事業検討会座長を務める川本哲郎さんは「将来への不安」が共通点の一つであるが、不安の中身はそれぞれ違う。個々の事情に合った支援が必要だ」と総括した。

求めると同時に情報共有を徹底したほか、母親から子どもの様子を丁寧に聞き取るなどして、支援態勢を整えたという。

体験発表では、根本さん、当会の元奨学生、安田瑞生さんら3人が自らの体験を語った。

小1の時に父を亡くした根本さんは、葬儀の間も死別の実感がわかなかったという。ただ、残された母はより一層、仕事に一生懸命になり、休日も疲れ果てた様子だった。母は仕事を頑張る姿を見て、自分が何もしないでいるのが悲しかったと振り返った。

さらに多忙な母に代わって身の回りの世話をしてくれた祖父母に対して「亡くなった父は自分たちの子なので、祖父母の方がつらかったはず。子どもだけでなく、残された母や祖父母のような遺族にも支援が届く」と思うと話をした。

安田さんは「社会にある、さまざまな支援を知らないままだと遺族は大変だ」と思う。関係機関が繋がって支援のバトンをつなぐことで、子どもたちが必要な支援を受けられるといいと話した。

交通事故被害者サポート事業検討会座長を務める川本哲郎さんは「将来への不安」が共通点の一つであるが、不安の中身はそれぞれ違う。個々の事情に合った支援が必要だ」と総括した。

終わらない夢「甲子園で校歌を」

おじいちゃん

橋野 義明 さん
岩手県立一関第一高校3年

創 立123年を迎えた伝統校の硬式野球部主将として30人余りのチームを束ねた橋野義明さん(18)。歴史と伝統の重みゆえか、後輩にチームを委ねた今も「東京をはじめ各地のOBから叱咤激励をいただきますから。試合で結果を出していかないと」と、表情を引き締める。

小学生の時、東京・神宮球場でプロの試合を見て「楽しそう。やってみたい」と思ったのが野球を始めたきっかけ。加えて、大学まで野球を続け地域の野球大会にも出場するほど「野球好き」の父・智弘さん(55)の影響は大きい。

中高一貫の同校に進学後はさっそく野球部に。中学時代は副主将を務めた。帰宅後は、素振りやバドミントンの羽根を打つ練習など中高を通じて智弘さんが付き合っていた。

「試合でヒットを打つと、自分のことのように喜んでくれました。高校では2本、ホームランを打ったんですが、自分でも完璧な結果を出せたとはいえません。父も言葉にはしませんが、これまでに一番嬉しかったんです。」

半面、長いスランプに陥った時は「たくさん厳しい言葉を言われて父とうまくコミュニケーションが取れず、辛かったですね。ずっと二人で野球を続けてきたので。」

監督から「チームの太陽のような存在になってほしい」と、主将を任せられた2年生の



チームメイトと

秋。「父も『まさか!』という感じで喜んでくれた」と振り返りながら、伝統校の重圧を背負いつつ「自分が一番動かしにくい」と腹をくくった。過去、旧制中学時代を含めて春夏計6回、甲子園に登場。勝利は1916(大正5)年の第2回大会以来、遠ざかっている。「甲子園で校歌を歌う」という目標達成のために、チームの意識を一つにしなくては、と感じていた。

「チームの課題をはっきりさせて、問題点を分析しながら監督と練習メニューを考えました。練習中でもプレーを止めて、問題点を各自が言葉に出して明らかにするなど、全員で課題を共有する方針を徹底しました。その結果、自らのプレーに責任を持つ選手が増えた」という。

最後の大会となった夏の県大会。初戦は2点を追う9回に逆転して勝利をつかみ、「打線がつかまり、皆が塁に出、最も印象に残る試合」になった。ベスト8を目前に涙をのんだものの、これまでのやり方に手応えを感じたという。後任の主将には、チームをまとめて同じ目標に向かう難しさを伝え、伝統校のプレッシャーをはねのけて勝利を目指すには「部員の意見をよく聴き、視野を広くして行動するよう」アドバイスした。橋野さんは、大学進学後も野球を続けるつもりだ。中高と野球を続けて学んだ、こんな思いがいつも胸にある。

「物事の判断に迷ったら、とりあえず行動します。挑戦する時は徹底的にやりたい。やらないで後悔するより、やって後悔した方がいい」

小 2の時、母・淳子さん(享年44)を亡くした。

「母が亡くなってからは、『何でも自分でやるようにしないと』と思うようになりました。両親に頼りきっていた部分もありましたから。父にあまり迷惑をかけないようにしないとけないな、と」

大学では大きな目標がある。「教員免許を取って、できれば高校の先生になり、高校野球に携わりたい」。教師という将来の夢もまた、野球が結んだ縁かもしれない。

「もし母校に戻って野球部の監督を任せられたら、その時こそ甲子園で校歌を歌いたい」

お父さんの背中

家族で醸す「最高のコーヒー」

豊 かな緑が残る神戸市郊外。石畳の先に鎮座するのは、国宝の本堂を擁する古刹・太山寺。参道脇から流れ出すのは、香ばしいコーヒーの香り。

モミジ、モチノキの大きが枝を広げる敷地で、コーヒー豆専門店「太山寺珈琲焙煎室」を営む横野貢司さん(44)。太山寺のお膝元で5人のスタッフと店を切り盛りする。世界中から選りすぐった豆はもちろん、「コーヒーマスター」の味が変わる。お客さんとの会話から好みを判断して淹れ方を調整し、コーヒーマスターの力を引き出すスタッフが店の自慢です。と胸を張る。

だが、今に至るまでの道のりは平坦ではなかった。高3の冬、阪神・淡路大震災に見舞われ、自宅は全壊。郊外に転居を余儀なくされた。進学後は就職氷河期のおおりで、希望していた教職を断念。IT業界に就職して大阪府でシステムエンジニアとして働いた。就職した年に結婚した妻(48)は10代の時、同乗していた車が事故に遭って車いすの生活に。体力作りとリハビリを兼ねて始めた車いすバスケットボールの選手だった。当時、学生だった横野さんはバスケット経験を買われ、チームのマネージャーとなり、妻と知り合った。

ところが、就職後は銀行再編や電子カルテ導入など

各分野でデジタル化が進み、仕事は多忙を極めた。「ITインフラの整備はうまく動作して当たり前にそうでないかと怒られる。つくづく人に感謝されることのない仕事やなあ」と。どこにやりがいを求めるか、真剣に考えました。出張も重なり、「自分の不在時に妻と子に何かあったらどうするのか」と自問自答して。今思えば、少し大きすぎたかもしれないが、自宅兼店舗が可能なカフェをやろう。そう思い定めて入社3年目の夏に退職。専門学校に通い、市内のカフェや喫茶店で11年間、接客ノウハウやコーヒーマスターに関する知識、技術を磨いた。

よこの 横野 貢司 さん
「太山寺珈琲焙煎室」店主(神戸市)



「最高の場所で最高のコーヒーを」と横野さん
<https://www.taisanji-coffee-works.jp/>

当初は「ラテ・アート(泡立った表面に絵や模様を描く技術)」に憧れ、「豆を焼く(焙煎する)発想はまるでなかった」という。専門店を志す「原点」になったのは、修業時代に神戸・元町で飲んだ、コンテストで日本一になったこともある名人が淹れた一杯。「ちゃんと淹れた人がちゃんと淹れるとこんなにおいしい」。焙煎技術を学び直し、今の場所で独立を果たしたのは7年前だ。

立までの間、経理事務の仕事で支えてくれた妻をはじめ、店を手伝う長女(20)、長男(17)の家族経営が醸し出す柔らかな温かさが店を満たす。「元々、自分もコーヒーマスターの方ではなかった。この店をコーヒーマスターの第一歩にしてみたい、ゆっくりファインになってほしい」

店先には時に地元産の野菜、果物、生花が並ぶ。「コーヒーマスターも野菜も、きちんと手仕事で作られたものはおいしい。地元産品の良さを知ってもらい、地域貢献したい。家族を受け入れてもらった地元には感謝しかありませんから」と横野さんは言う。

ゆくゆくは「都会に出た若い人が『なんだか面白そう』と帰ってきたくなるような、そんな拠点になりたい」。そう思っている。

あしながおじさんの広場



【9月】

弁護士です。YouTubeをしており、スーパーチャットでいただいた金員を寄付いたします。(東京都H・Mさん)

3歳の時に交通事故で父を亡くしました。父の月命日に寄付をさせていただきます。(大分県W・Iさん)

わずかですがパパの気持ちです。(東京都F・Fさん)

【10月】

独りきりになることなく、周りを頼りながら生きていこうという思いです。「頼れる周りの一助になれるよう私も努力します。(大阪府W・Aさん)

自動車業界に長年勤めておりました。自動車事故が少なくなることを望んでいます。(神奈川県N・Yさん)

高校、大学と奨学生として大変お世話になりました。僕ですが、お役に立てればと思います。(神奈川県S・Hさん)

2歳の時に父親を交通事故で亡くしました。以降、母は再婚もせず、一人で私を育ててくれました。

小学生の頃に「あしながおじさん」という言葉をお母さんから聞き、高校も育英会の援助で行かせていただき、感謝しかありません。微力ではありますが、ご恩返しに寄付させていただきます。

同じ思いをした一人として、何とか支援したいと思ひ、寄付を行うことにしました。年金生活のため十分な支援が出来ませんが、恵まれない遺児の助けになれば幸いです。(山形県T・Mさん)

不運にめげず、我が道を進みます。(埼玉県N・Hさん)

秦三子先生のツイッタを見ました。(山形県A・Fさん)

お便り

心折れたら休んで、また歩んで 未来の幸せにつながりますように

抱く若者の姿に敬意を抱いています。(群馬県U・Tさん)

コロナと戦いながら自分らしく、自分のために頑張ってください。心が折れたら休んで、また歩んでください。(神奈川県M・Sさん)

警察官OBです。広報紙によりますと、親を失い進学や生活に困窮している交通遺児の方がたくさんおられるようです。

マツダパーツ様

「企業は人なり」社員と共に成長と豊かさを実現できる会社

マツダパーツ様は、マツダグループの一員として、マツダ純正品をはじめ、関連する各種商品の販売と供給を通じて、お客様の笑顔あふれるモビリティライフを実現することをミッションとしてい

ご支援に感謝いたします

育英会から

現することをミッションとしてい

また社員の成長が会社の成長に繋がり、社員の豊かさを実現すべく、「参画と称賛」を重んじる企業風土づくりを進めています。

社会貢献活動も、従業員の全員参加によるリサイクル品収集や募金型自動販売機を通して、交通遺児支援のため当会にご寄付をお寄せいただいております。

同じ思いをした一人として、何とか支援したいと思ひ、寄付を行うことにしました。年金生活のため十分な支援が出来ませんが、恵まれない遺児の助けになれば幸いです。(山形県T・Mさん)

交通事故並びに交通遺児の皆さまに少しでもお役に立てればと思ひ、寄付しました。(神奈川県M・Nさん)

交通遺児の皆さまの未来の幸せにつながりますように。(東京都I・Yさん)

5台(代)目も3000キロを超し、運転も徐々に慣れてきました。(福島県K・Nさん)

コロナに負けず、頑張ってください。(東京都M・Mさん)

交通遺児の皆さんの学費の足しにさせていただきます。(東京都I・Tさん)

自分も交通遺児です。あきらめず、頑張ってください。(愛知県G・Tさん)

が張り裂けそうです。そんな子どもたちの夢を少しでも手助け出来たらと思ひ、寄付をしようと思ひました。(岡山県T・Tさん)

今回、フェイスブックのグループでステッカーを作り、協力金の一部ですが、微力ながらグループから寄付させていただきます。(大阪府S・Kさん)

何かと制約のある日々ですが、皆さん頑張ってください。(京都府S・Aさん)

【12月】

未来ある子どもたちのために尽力くださって、ありがとうございます。些少なから手助けになればと思ひ、寄付いたします。(東京都H・Sさん)

新型コロナがなかなか終息しませんが、ともに頑張ります。(大分県N・Kさん)

いつも普通に車の運転をしてますが、交通事故の報道に接したり、実際に事故現場を見たりすることが多く、「大変な苦労をしている方がいる」と思ひ、寄付させていただきます。(静岡県H・Nさん)

自分もコロナで収入が不安定でしたが、最近少し安定しましたので、また寄付させていただきます。(熊本県U・Tさん)

とても大変だと思いますが、応援しています。(京都府T・Yさん)

幼い頃に交通事故で父を亡くしました。自分と同じような境遇の子どもたちのことを思うと、胸

交通遺児育英会の連絡先(平日9:00~17:30)	
▽奨学金貸与について	0120-521286
▽返還・猶予・免除について	0120-521287
▽成績相談・つどい・語学研修	0120-521295
▽募金・寄付について	0120-521285
▽心塾入寮申し込みについて	0120-355619

君につばさ一夢を、諦めない

高校・専修学校・各種学校
大学・大学院

交通遺児 奨学生募集

〈保護者の重い後遺障害も対象です〉

東京都と関西に大学生・専門学校生の学生寮あり

(公財) 交通遺児育英会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階
☎ 03-3556-0773 ☎ 0120-521286
<https://www.kotsuiji.com/>

